

平成25年度

一般入試学生募集要項

【前期日程】

出願期間	平成25年 1月28日(月)～ 2月6日(水)
試験日	平成25年 2月25日(月) 経済学部・医学部看護学科・工学部 平成25年 2月25日(月)・26日(火) 教育福祉科学部・医学部医学科
合格者発表	平成25年 3月6日(水)

【後期日程】

出願期間	平成25年 1月28日(月)～ 2月6日(水)
試験日	平成25年 3月12日(火) 教育福祉科学部・経済学部 医学部看護学科・工学部
合格者発表	平成25年 3月20日(水)

目 次

【全学部共通事項】

大分大学アドミッション・ポリシー	3
募集人員	4

【教育福祉科学部】

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー	7
志望学部・学科等, 出願資格, 選抜方法	10
1. 一般入試募集人員	11
2. 一般入試前期日程	13
3. 一般入試後期日程	21

【経済学部】

経済学部アドミッション・ポリシー	29
志望学部・学科等, 出願資格, 選抜方法	32
4. 一般入試募集人員	33
5. 一般入試前期日程	34
6. 一般入試後期日程	36

【医学部】

医学部アドミッション・ポリシー	41
志望学部・学科等, 出願資格, 選抜方法	44
7. 一般入試募集人員	45
8. 一般入試前期日程	46
9. 一般入試後期日程	48

【工学部】

工学部アドミッション・ポリシー	53
志望学部・学科等, 出願資格, 選抜方法	57
10. 一般入試募集人員	58
11. 一般入試前期日程	59
12. 一般入試後期日程	61

【全学部共通事項】

13. 出願手続	65
14. 入学資格審査について	66
15. 障がいのある者等の事前相談	66
16. 震災により被災した者, または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談	67
17. 受験の際の宿泊	67
18. 検査場	67
19. 不正行為の取扱い	70
20. 合格者発表	70
21. 追加合格	71

22. 入学手続	71
23. 情報提供	72
24. 過去問題の使用について	72
25. その他	73

一般入試出願書類等【前期日程】

一般入試出願書類等【後期日程】

【全学部共通事項】

大分大学アドミッション・ポリシー
募集人員

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

募集人員

学部	学科・課程・コース	入学定員	日程・募集人員					
			一般入試		推薦入試	AO入試		
			前期日程	後期日程				
教育福祉科学部	発達教育コース【注1】	25	19	【注4】②④	6			
	特別支援教育コース	10	3	【注4】②④	2	5		
	学校教育課程 教科教育コース【注1】	65	小論文と国語 6名程度	41 【注4】②④	11	音楽選修 2 美術選修 2 保健体育選修 2 技術選修 4 家庭科選修 3	13	
			小論文と社会認識 6名程度					
			小論文と数学 6名程度					
			小論文と理科 6名程度					
			小論文と実技(音楽) 3名程度					
			小論文と実技(美術) 3名程度					
			小論文と実技(保体) 3名程度					
			小論文と生活認識 2名程度					
	小論文と英語 6名程度							
	小計	100	63	19	18			
	情報社会 文化課程	社会文化コース	15	7	【注4】①②③④	3	5	
		情報教育コース	20	11	【注4】①②③④	4	5	
		総合表現コース	15	7	【注4】①②③④	3	5	
小計		50	25	10	15			
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24	【注4】①②③④	5	福祉普通 1 5	6	
	心理健康福祉コース【注1】	30	心理分野 7	14 【注4】	心理分野 3	8	5	
			スポーツ・健康分野 7	①② ③④	スポーツ・健康分野 5		3	
	生活環境福祉コース【注1】	30	生活分野 10	20 【注4】	生活分野 3	6	2	
			環境分野 10	②④	環境分野 3		2	
小計	95	58	19	18				
計	245	146	48	51	【注3】			
経済学部	経済学科	130						
	経営システム学科	130	120	90	【注4】①③④	普通商業 50 30	英語簿記 5 10	
	地域システム学科	45						
	計【注2】	305	120	90	80	15		
医学部	医学科	100	65	—	—	—	35 (地域枠10を含む)	
	看護学科	60	35	15	【注4】③	10		
	計	160	100	15	10	35	【注3】	
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	80	53	【注4】①④	15	12		
	電気電子工学科	80	52	【注4】①④	14	14		
	知能情報システム工学科	70	44	【注4】①④	11	15		
	応用化学科	60	38	【注4】①④	10	12		
	福祉環境 工学科	建築コース	50	35	【注4】①④	10	5	
		メカトロニクスコース	30	16	【注4】①④	6	8	
	計	370	238	66	66	【注3】		
合計	1,080	604	219	207	50			

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から各選修への所属を決定します。

イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに所願した分野に所属します。詳細は、11ページで確認してください。

【注2】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注3】推薦入試、AO入試の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試（前期日程）から補充することがあります。

【注4】募集人員には、①帰国子女入試（若干名）、②中国引揚者等子女入試（若干名）、③社会人入試（若干名）、④私費外国人留学生入試（若干名）の募集人員を含みます。

【教育福祉科学部】

教育福祉科学部

アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。（学校教育課程）
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。（情報社会文化課程）
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。（人間福祉科学課程）

求める学生像

学校教育課程

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

情報社会文化課程

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人（社会文化コース）
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人（情報教育コース）
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人（総合表現コース）

人間福祉科学課程

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人（社会福祉コース）
- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人（心理分野）
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人（スポーツ・健康分野）
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人（生活分野）

- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人（環境分野）

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、社会人入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7科目とし、個別学力検査では募集単位ごとに小論文、教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能、感性、基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また個別学力検査は募集単位ごとに面接、小論文又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

・推薦入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技、作品審査が加わる）及び提出書類を総合的に判断して選考します。

・帰国子女入試、中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。帰国子女入試は情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

・社会人入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

・私費外国人留学生入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技検査が加わる）及び提出書類を総合して選考します。ただし、出願資格として日本留学試験を受験し所定の要件を満たしていることが必要です。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センター試験で課している教科・科目について、及び一般入試（前期日程）において各コース・分野で課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。特別入試や一般入試（後期日程）においては、これら教科・科目の学科試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

国 語：言語を通して的確に理解し、論理的に思考し表現すること、なかでも、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。また、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合うことや我が国の言語文化や国語の役割や特質について理解を深めようとする意欲にあふれていることが望まれます。

地理歴史， 公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数 学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことも望まれます。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。

理 科：理科においては自然や科学に対する関心や探求心を土台として、各科目における基礎的な概念については一定の理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに単に暗記した知識を問題に当てはめるだけではなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが望まれます。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語の力を持つことが必要です。

志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

教育福祉科学部で志望できるコース・分野は、前期日程及び後期日程とも一つのみです。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

出願資格

平成25年度大学入学者選抜「**大学入試センター試験**」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成25年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（66ページを参照してください）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

1. 調査書について
出身高等学校長等が作成したものとします。
2. 過年度の大学入試センター試験成績の利用について
本学では平成25年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。
3. 同点者の取扱いについて
それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入試センター試験の得点が高得点の者から高順位とします。

1. 一般入試募集人員【教育福祉科学部】

学部	課程・コース 【注1】		入学定員	募集人員					
				前期日程		後期日程			
				試験区分	計	試験区分	計		
教育福祉科学部	学校教育課程	発達教育コース	25	19	【注2】②④		6		
		特別支援教育コース	10	3	【注2】②④		2		
		教科教育コース	65	小論文と国語		6名程度	41 【注2】 ②④	11	
				小論文と社会認識		6名程度			
				小論文と数学		6名程度			
				小論文と理科		6名程度			
				小論文と実技(音楽)		3名程度			
				小論文と実技(美術)		3名程度			
				小論文と実技(保体)		3名程度			
				小論文と生活認識		2名程度			
小論文と英語		6名程度							
小計	100	63			19				
情報社会課程	社会文化コース	15	7	【注2】①②③④		3			
	情報教育コース	20	11	【注2】①②③④		4			
	総合表現コース	15	7	【注2】①②③④		3			
	小計	50	25			10			
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24	【注2】①②③④		5			
	心理健康福祉コース	30	心理分野	7	14 【注2】 ①②③④	心理分野	3	8	
			スポーツ・健康分野	7		スポーツ・健康分野	5		
	生活環境福祉コース	30	生活分野	10	20 【注2】 ②④	生活分野	3	6	
			環境分野	10		環境分野	3		
小計	95	58			19				
計	245	146			48				

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から次の各選修への所属を決定します。

発達教育コース 「教育学(10)」「教育心理学(10)」「幼年教育(5)」

教科教育コース 「国語(8)」「社会(8)」「数学(8)」「理科(8)」「音楽(5)」

「美術(5)」「保健体育(5)」「技術(5)」「家庭科(5)」「英語(8)」

※()内は推薦入試等他の入試での入学者を含めた各選修のおおよその定員です。

イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに合格した分野に所属します。

心理健康福祉コース「心理分野」「スポーツ・健康分野」生活環境福祉コース「生活分野」「環境分野」

【注2】各募集人員の①②③④は次の入試の募集人員を含みます。

①…帰国子女入試(若干名) ②…中国引揚者等子女入試(若干名) ③…社会人入試(若干名)

④…私費外国人留学生入試(若干名)

推薦入試募集人員【教育福祉科学部】（参考）

学部	課程・コース	入学定員	選修・分野	推薦区分	募集人員	
教育福祉科学部	特別支援教育コース	10			5	
	学校教育課程 教科教育コース	65	音楽選修		2	
			美術選修		2	
			保健体育選修		2	
			技術選修	【注】工業に関する学科・課程，総合学科，普通科を含むその他の学科・課程から	4	
			家庭科選修		3	
	小計				18	
	情報社会文化課程	社会文化コース	15			5
		情報教育コース	20			5
		総合表現コース	15			5
		小計				15
	人間福祉科学課程	社会福祉コース	35		福祉に関する学科・課程から	1
					普通科を含むその他の学科・課程から	5
		心理健康福祉コース	30	心理分野		5
				スポーツ・健康分野		3
		生活環境福祉コース	30	生活分野		2
				環境分野		2
	小計				18	
	計					51

【注】工業に関する学科・課程，総合学科からの合格者数は，普通科等からの合格者数を下回らないように選抜します。ただし，合格者数が募集人員に達しない場合は，この限りではありません。

2. 一般入試前日程

2-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【教育福祉科学部・前期日程】

学部 (課程・コース等)	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	発達教育コース	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。	小論文と 英語〔英語Ⅱ〕	
学 校 教 育 課	特別支援教育コース	数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)	小論文と 国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅱ〕 から1教科 (複数教科選択可)	個別学力検査は小論文と1教科(理科は1科目)又は小論文と実技です。なお、教科教育コースは教科・科目等の複数選択はできません。
教 育 福 祉 科 学 部	教科教育コース	国語「国語」 1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)	小論文と 国語 社会認識を問う問題 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 理科〔物理Ⅰ〕 〔化学Ⅰ〕 〔生物Ⅰ〕 〔地学Ⅰ〕 から1科目 実技〔音楽〕(17ページ参照) 実技〔美術〕(17ページ参照) 実技〔保健体育〕(17ページ参照) 生活認識を問う問題 英語〔英語Ⅱ〕	

学部 (課程・コース等)	試験区分	個別学力検査の教科・科目等
<p>教育福祉科学部</p> <p>情報社会文化課程</p>	<p>大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目</p> <p>社会文化コース</p> <p>国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)</p>	<p>国語と 英語〔英語II〕</p>
	<p>情報教育コース</p> <p>国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」</p> <p>数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)</p>	<p>英語〔英語II〕と 数学〔数学I・数学II・ 数学A・数学B〕 理科〔物理I〕 〔化学I〕 〔生物I〕 〔地学I〕</p> <p>から1教科 (理科は1科目)</p> <p>(複数教科選択可)</p>
<p>総合表現コース</p> <p>国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」</p> <p>理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から1科目 1教科1科目 又は 2科目</p> <p>数学①「数学I・数学A」 1科目と 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 計2科目</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (3教科3～4科目)</p>	<p>実技 (18ページ参照)</p>	

学部 (課程・コース等)		試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等	備考
人間福祉科学課程	社会福祉 コース	心理分野	国語「国語」1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「倫理」「政治・経済」から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学①「数学I・数学A」1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目	小論文と 英語〔英語II〕	個別学力検査は 小論文と1教科 (理科は1科目) 又は実技と1教科 です。
	心理健康福祉コース	健康分野	理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)	小論文と 国語 数学〔数学I・数学II・数学A・数学B〕から1教科 英語〔英語II〕 (複数教科選択可)	
教育福祉科学部	生活環境福祉コース	生活分野	国語「国語」1科目 数学①「数学I・数学A」1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「倫理」「政治・経済」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)	小論文と 国語 数学〔数学I・数学II・数学A・数学B〕から1教科 英語〔英語II〕 (複数教科選択可)	個別学力検査は 小論文と1教科 (理科は1科目) 又は実技と1教科 です。
		環境分野	国語「国語」1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「倫理」「政治・経済」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 数学①「数学I・数学A」1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	小論文と 理科〔物理I〕 〔化学I〕 〔生物I〕 〔地学I〕 から1科目	

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験（複数の教科・科目から選択できる場合）について

- ア) 地理歴史・公民の科目において、複数科目を受験した場合の取り扱いについては、地理歴史・公民で本学が指定する科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち、第1解答科目を地理歴史・公民の得点として採用します。
- イ) 理科の科目において、複数科目受験した場合の取り扱いについては、理科で本学が指定する科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち、第1解答科目を理科の得点として採用します。
- ウ) 受験科目を地理歴史・公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地理歴史・公民から1科目としている場合は、それぞれの第1解答科目の得点にそれぞれの第2解答科目のうちの高得点の1科目を加えた合計3科目の得点を合否判定に使用します。
- エ) 複数の教科から選択できる場合は、受験した教科（地理歴史・公民及び理科は上記ア）イ）を採用）のうち最も高得点のものを合否判定に使用します。

【注3】 大学入試センター試験について

- ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。（リスニングテストを免除された者は除く。）なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。
- イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【注4】 個別学力検査について

- ア) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験した教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。
- イ) 国語の出題範囲は（国語総合）に（国語表現Ⅰ，現代文，古典）を加えたものです。
- ウ) 数学Bの出題範囲は，（数列），（ベクトル）です。
- エ) 小論文では，現代社会が抱えるさまざまな課題について，基礎的理解力，論理的・科学的思考力や文章表現力などを問います。
- オ) 前期日程実技検査の内容は，17～18ページのとおりです。

前期日程実技検査の内容（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野に関わる資質を評価します。）

課程等	検査科目	検査項目	検査の内容	検査当日持参するもの
学校教育課程 教育コース	実技 [音楽] (全項目 必須です)	コール ユーブンゲン	コールユーブンゲン第1巻, No.39～71（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。固定ト唱法、移動ト唱法のいずれかで歌ってください。 次の歌曲の中から1曲を選び、暗譜、原語で歌ってください。 （歌曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上、入学志願書とともに提出してください。なお、移調を希望する場合は、曲目調査票の当該欄に○印をつけ、伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。） * Sento nel core A. スカルラッティ 作曲 ハ短調 * Ombra mai fu ヘンデル 作曲 変ホ長調 （アリアのみ歌ってください。試験当日の前奏は、アリアが始まる5小節前からとします。） * Vergin, tutto amor ドウランテ 作曲 ハ短調 * 浜辺の歌 成田 為三 作曲 変イ長調 （1番と2番を歌ってください。）	
		器 楽 (ピアノ)	ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び、第1楽章又は終楽章（ただし、緩徐な楽章は除きます。）を暗譜、繰り返しなしで演奏してください。 （演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は、所定の曲目調査票に記入の上、入学志願書とともに提出してください。）	
	実技 [美術]	B3画用紙に鉛筆によるデッサンを行います。モチーフは当日指定します。	鉛筆 消しゴム 練りゴム	
	実技 [保健体育]	1. 基礎的運動能力（短距離走、立ち幅とび、反復横とび、3分間シャトル走） 2. 身体及び用具操作の基礎的能力	運動服 屋内用スポーツシューズ 屋外用スポーツシューズ （スパイク不可）	

課程等	検査科目	検査の内容	検査当日持参するもの
情報社会文化課程	総合表現 コース 実 技	<p>次のAからCの中から1項目を選択してください。</p> <p>A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。創作時間は昼食を挟んで約3時間です。</p> <p>B. 美術表現：鉛筆により木炭紙大の用紙に描写を行います。検査時間は昼休みを挟んで10時から16時までの約5時間です。</p> <p>C. 音楽表現：次の2つの検査を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コールユーズンゲン コールユーズンゲン第1巻、No.45～71（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。固定ト唱法、移動ト唱法のいずれかで歌ってください。 2. 音楽による自己表現 演奏の場合は、任意の楽曲を1曲選び、演奏してください。演奏手段は、声楽、ピアノのいずれかです。作曲の場合は、自作品を1曲以上提出し、試験日当日にその作品について説明してください。 *演奏の場合は、本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し、入学志願書とともに提出してください。 *なお、声楽を選択した場合は、氏名を明記したピアノ伴奏譜を、入学志願書、曲目調査票とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。 *作曲の場合は、自作品を入学志願書とともに提出してください。作品の提出は原則として楽譜（コピー楽譜可）によるものとしませんが、楽譜ではなく録音・映像等によって記録された作品である場合（たとえばコンピュータ音楽など）は、CDやDVDなどのメディアを提出してください。なお、CDは一般の日本製プレイヤーで再生可能な録音形式、DVDは一般の日本製プレイヤーで再生可能なビデオ形式にしてください（DVDの場合、必ずファイナライズ処理を行ってください。）提出物には、志願者氏名を明記してください。 	<p>表現に適した服装。床面の都合でトウシューズは使用できません。</p> <p>鉛筆描写に必要な用具（カルトンと用紙は本学が準備します）</p>
人間福祉科学課程	心理健康 福祉コース (スポーツ・健康分野) 実 技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】 実技検査で昼食が必要な場合には、検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】 実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のお答えできません。

2-1-2. 個別学力検査の日程及び検査時間【教育福祉科学部・前期日程】

日程及び検査時間、教科・科目の選択方法について

志望する課程 ・コース等	検査日	2月25日(月) (筆記試験)				2月26日(火) (実技検査)		備考 (教科・科目 の選択方法)
		9:20 ~10:30	11:10 ~12:20	13:30 ~14:50	15:30 ~16:40			
学校教育課程	発達教育コース		◎小論文		◎英語			
	特別支援教育コース	△国語	◎小論文	△数学	△英語		複数教科選択可	
	教科教育コース	△国語 △社会認識 △理科 △生活認識	◎小論文	△数学	△英語	△音楽 10:00~16:30 △美術 10:00~13:00 △保健体育 10:00~15:30 (詳細は実技検査の内容参照)	教科又は実技から 1つ選択	
	社会文化コース	◎国語			◎英語			
情報文化課程	情報教育コース	△理科		△数学	◎英語		複数教科選択可	
	総合表現コース					◎ 10:00~16:30 (詳細は実技検査の内容参照)		
	社会福祉コース		◎小論文		◎英語			
人間福祉科学課程	心理健康福祉コース	△国語	◎小論文	△数学	△英語		複数教科選択可	
		△国語		△数学	△英語	◎ 10:00~16:00 (詳細は実技検査の内容参照)	複数教科選択可	
	生活環境福祉コース	△国語	◎小論文	△数学	△英語		複数教科選択可	
		◎理科	◎小論文					複数教科選択可

【注1】◎は必須、△は選択を示します。

【注2】筆記試験は当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始20分後です。

実技開始時刻に遅刻した場合は、検査の説明開始から受験者の1組目又は1人目の試験が始まるまでに限り、受験を認めます。

2-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【教育福祉科学部・前期日程】

学部	課程	コース (分野)	大学入試センター試験					個別学力検査						合計点					
			国語	地理歴史 公民	数学① 数学②	理科	外国語	国語	社会認識 の問題	数学	理科	英語	生活認識 の問題		実技	小論文			
教育福祉科学部	学校教育課程	発達教育コース 特別支援教育コース 教科教育コース	100	50×2	50×2	(50)	100	(100)			100								
			100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100	[100]	[100]	(100)	[100]	[100]	[100]	[100]		100			650
			100	50×2	50×2	(50)	100	100			100								
	情報社会文化課程	社会文化コース 情報教育コース	100	50×2	50×2	(50)	100			100									
			100	(50)	50×2	50×2	100			(100)	100								
		総合表現コース	100		50×2		100								350				650
						(100)													
	人間福祉科学課程	社会福祉コース 心理健康福祉コース (心理分野)	100	50×2	50×2	(50)	100	(100)			100					100			
			100	50×2	50×2	(50)	100			(100)	(100)	(100)				100			
		心理健康福祉コース (スポーツ・健康分野)	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100	(100)			(100)					100			
100			(50)	50×2	50×2	100			(100)	(100)	(100)				100			650	
生活環境福祉コース (生活分野)		100	(50)	50×2	(50) 50×2	100	(100)												
		100	(50)	50×2	50×2	100				100									

- 【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。
- 【注2】 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。
- 【注3】 大学入試センター試験の()書きの教科の配点は次のとおりです。
地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は取り扱いは、受験した科目のうち、第1解答科目を理科の得点として採用します。理科の科目において、複数科目受験した場合は、受験した科目のうち、第1解答科目を理科の得点として採用します。
- 【注4】 大学入試センター試験(複数)教科・科目から選択できる場合)について
ア) 学校教育課程教科教育コース及び人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野において、地理歴史及び公民と理科を合計4科目受験した場合は、それぞれの第1解答科目の得点にそれぞれの第2解答科目のうち高得点1科目を加えた合計3科目の得点を合否判定に使用します。
イ) 情報社会文化課程総合表現コースにおいて、複数の教科を受験した場合は、【注3】を採用)のうち最も高得点のものを合否判定に使用します。
- 【注5】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に上記の表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。
- 【注6】 個別学力検査の()書きの配点は、1教科選択を示します。
- 【注7】 個別学力検査の()書きの配点は、複数の教科を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

3. 一般入試後期日程

3-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【教育福祉科学部・後期日程】

学部 (課程・コース等)	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の 教科・科目等	備考
教育福祉科学部	発達教育 コース	国語「国語」 1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から2科目 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } ※ 「地理歴史」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。		
	特別支援 教育コース	数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 から1科目 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」 から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)		
教育課程	教科教育 コース	国語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 から1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } ※ 「地理歴史」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)	面接	

学部 (課程・コース等)	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の 教科・科目等	備考
教育福祉科学部	社会文化 コース	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (3教科3科目)		
	情報社会 文化 コース	国語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 から1科目 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (4教科5科目)	面接	
教育福祉科学部	総合表現 コース	国語「国語」 1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (2教科2科目)	実技 (24ページ参照)	

学部 (課程・コース等)	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	備考	
教育福祉科学部	人間福祉科学課程	<p>社会福祉コース</p> <p>心理分野</p> <p>心理健康福祉コース</p> <p>健康スポーツ分野</p>	<p>国語「国語」 1科目</p> <p>地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「倫理」「現代社会」「政治・経済」 から2科目</p> <p>公民「現代社会」「政治・経済」</p> <p>※「地理歴史」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>数学①「数学I・数学A」 1科目</p> <p>数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目</p> <p>理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」「地学I」から1科目</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)</p>	<p>個別学力検査の教科・科目等</p> <p>小論文</p> <p>面接</p> <p>実技 (24ページ参照)</p>
	生活環境福祉コース	生活分野	<p>国語「国語」 1科目</p> <p>数学①「数学I・数学A」 1科目</p> <p>数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目</p> <p>地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「倫理」「現代社会」「政治・経済」</p> <p>公民「現代社会」「政治・経済」</p> <p>※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)</p>	<p>面接</p>
	環境分野	環境分野	<p>国語「国語」 1科目</p> <p>地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「倫理」「現代社会」「政治・経済」 から1科目</p> <p>公民「現代社会」「政治・経済」</p> <p>数学①「数学I・数学A」 1科目</p> <p>数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目</p> <p>理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」から2科目</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)</p>	

【注1】 大学入試センター試験（複数の教科・科目から選択できる場合）について

- ア) この表中の「」書きは、科目の区分を示します。
- イ) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目を受験した場合の取り扱いについては、地理歴史及び公民が指定する科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち、第1解答科目を地理歴史及び公民の得点として採用します。
- ウ) 理科の科目において、複数科目を受験した場合の取り扱いについては、理科で本学が指定する科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち、第1解答科目を理科の得点として採用します。
- エ) 受験科目を地理歴史及び公民から1科目又は理科から2科目と地理歴史及び公民から1科目としている場合は、それぞれの第1解答科目の得点にそれぞれの高得点の1科目を加えた合計3科目の得点を合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

- ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。（リスニングテストを免除された者は除く。）なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。
- イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【注3】 個別学力検査については下記のとおりで

- ア) 小論文のねらいについては下記のとおりで

人間福祉科学課程	現代社会の抱える課題や本コースに関わる問題への関心や理解力、論理的・科学的思考力、表現力などを問います。また、人間と社会及びその両者の関係性を広く、全体的かつ客観的にとらえる力とそこに生じる諸問題を分析、考察する際の視点と発想を問います。
----------	---

- イ) 面接は複数の面接委員により行い、当該コース・分野等への関心、意欲、理解力、表現力などを評価します。
- ウ) 後期日程実技検査の内容は、下記のとおりです。

後期日程実技検査の内容（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野に関わる資質を評価します。）

課程等	検査科目	検査の内容	検査当日持参するもの
情報社会文化課程 総合表現コース	実技	<p>検査室内の約5m×5m、天井までの高さ約3mの空間で、自由な方法やテーマでの自己表現を行います。</p> <p>1) 検査方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査は検査室に一人ずつ入室して行います。 ・ 入室してから表現を完了し、退出するまでの検査時間は8分以内です。 ・ 自分や他人に対して危険なことや器物を損壊するようなこと、その他きわめて非常識と思われることは禁止します。 ・ あらかじめ制作、創作した作品を発表してもかまいません。 ・ 表現に使用する用具や材料は各自で準備し、持参してください。 <p>2) 検査室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流100V、15Aの電源を使用することができます。 ・ 検査室にはピアノがあり、それを使用することができます。 ・ 検査室には土足で入室できませんが、自分の表現に適した上履きを用いてもかまいません。 ・ 検査室にはCD、MD、カセットデッキがあり、これらを使用することができます。 <p>3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査室には、机・椅子がありますが、これらを自己表現の素材として使用することはできません。 	<p>ピアノ以外の表現に使用する用具や素材は各自持参してください。</p>
人間福祉科学課程 心理健康福祉コース (スポーツ・健康分野)	実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	<p>運動服 屋内用スポーツシューズ</p>

【注1】 実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のごことはお答えできません。

【注2】 **総合表現コースの実技検査内容は、前期日程と後期日程とは異なっておりますので、十分注意してください。**

3-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【教育福祉科学部・後期日程】

検査日	課程	コース等	検査科目	検査時間	備考
3月12日 (火)	学校教育課程	発達教育コース	面接	10:00～15:30	受験者は、9時30分までに集合し、入室着席し(場所は当日掲示)してください。 面接・実技を受験する者は検査時間中に昼食時間帯を設ける場合があり、検査場で昼食を持参してください。 面接・実技の終了時刻は変更することがあります。
			面接	10:00～15:30	
	情報社会文化課程	教科教育コース	面接	10:00～15:30	
			面接	10:00～15:30	
		社会文化コース	面接	10:00～15:30	
			面接	10:00～15:30	
		情報教育コース	面接	10:00～15:30	
			面接	10:00～15:30	
	人間福祉科学課程	社会福祉コース	実技	10:00～16:30	
			小論文	10:00～11:00	
	人間福祉科学課程	心理健康福祉コース	心理分野	10:00～15:30	
			スポーツ・健康分野	10:00～16:00	
		生活環境福祉コース	生活分野	10:00～15:30	
			環境分野	10:00～15:30	

【注1】 小論文は試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始20分後です。

【注2】 面接及び実技開始時刻に遅刻した場合は、検査の説明開始から受験者の1組目又は1人目の試験が始まるまでに限り、受験を認めます。

3-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【教育福祉科学部・後期日程】

学部	課程	コース (分野)	大学入試センター試験				個別学力検査				合計点	
			国語	地理歴史 公民	数学① 数学②	理科	外国語	面接	実技	小論文		
教育福祉科学部	学校教育課程	発達教育コース	100	50×2	50×2	(50)	100	100				550
		特別支援教育コース	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100	100				
		教科教育コース	100	(100)			150	100				
教育福祉科学部	情報社会文化課程	社会文化コース	100	50×2	50×2	(50)	100	100				500
		情報教育コース	100	(50)			150	100				
		総合表現コース	100				100	300				
教育福祉科学部	人間福祉科学課程	社会福祉コース	100	50×2	50×2	(50)	100	150			150	600
		心理健康福祉コース (心理分野)	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100	150				
		心理健康福祉コース (スポーツ・健康分野)	100	(50)			100	150				
		生活環境福祉コース (生活分野)	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100	150				
		生活環境福祉コース (環境分野)	100	(50)	50×2	50×2	100	150				

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】 大学入試センター試験の() 書きの教科の配点は次のとおりです。

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取り扱いは、受験した科目のうち、第1解答科目を地理歴史及び公民の得点として採用します。理科の科目において、複数科目受験した場合の取り扱いは、受験した科目のうち、第1解答科目を理科の得点として採用します。

【注4】 大学入試センター試験(複数の教科・科目から選択できる場合)について

学校教育課程教科教育コース及び人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野において、地理歴史及び公民と理科を合計4科目受験した場合は、それぞれの第1解答科目の得点にそれぞれの第2解答科目のうち高得点1科目を加えた合計3科目の得点を合否判定に使用します。

【注5】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に上記の表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

【 経済学部 】

経済学部アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

経済学部アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分もち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。

学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

〈地域システム学科〉

地域システム学科は、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書等による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

経済学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

- 国語**：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力
- 地理歴史、公民**：各科目の基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心
- 数学**：各科目の内容を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）
- 理科**：各科目の基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心
- 外国語（英語）**：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心

志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

経済学部では、前期日程及び後期日程とも各学科の募集人員を一括して募集し、入学後に経済学科、経営システム学科又は地域システム学科の専攻を決定します。

※公立大学協会ホームページ（<http://kodaikyo.org/nyushi>）参照

出願資格

平成25年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成25年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（66ページを参照してください）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

1. 調査書について

出身高等学校長等が作成したものについて審査します。

2. 過年度の大学入試センター試験成績の利用について

本学では平成25年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

4. 一般入試募集人員【経済学部】

学部	学 科【注1】	入学定員	募 集 人 員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	AO入試
経済学部	経 済 学 科	130	120	90 【注2】	普通推薦 50 商業推薦 30	英語資格 5 簿記資格 10
	経営システム学科	130				
	地域システム学科	45				
	計	305				

【注1】 経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注2】 後期日程には次の入試の募集人員を含みます。

- ・帰国子女入試(若干名)
- ・社会人入試(若干名)
- ・私費外国人留学生入試(若干名)

5. 一般入試前日程

5-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【経済学部・前期日程】

学部・学科 試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
経済学部 経済学科 経営システム学科 地域システム学科	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目 国語「国語」1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から2科目 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学①「数学Ⅰ」「数学Ⅱ・数学A」から1科目 数学②「数学Ⅱ」「数学Ⅲ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目又は6教科7科目)	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング〕 から1教科

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 理科の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 数学Bの出題範囲については、次のとおりです。(数列、ベクトル)

5-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【経済学部・前期日程】

検査日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
2月25日(月)	経済学 経営システム学 地域システム学	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅰ・英語Ⅱ・ リーディング・ライティング〕 から1教科	13:30～15:10

【注】当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始20分後です。

5-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【経済学部・前期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験				個別学力検査		合計点
国 語	地理歴史 公民	数学①	数学②	理科	外国語	
100	100×2	100	100	(100)	200	1000

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注3】() 書きの教科の配点については、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

【注4】大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようになります。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

6. 一般入試後期日程

6-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【経済学部・後期日程】

学部・学科	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
経済学部 経済学科 経営システム学科 地域システム学科	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学①「数学I」「数学I・数学A」 数学②「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (4教科5科目又は5教科5科目)	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等 小論文

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
 「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次ページの表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学の素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

- (a) 理解力 (あるいは大意把握力)
- (b) 論理的思考力
- (c) 表現力

6-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【経済学部・後期日程】

検査日	学 科	検 査 科 目	検 査 時 間
3月12日(火)	経 済 学 科		
	経 営 シ ス テ ム 学 科	小 論 文	10:00~11:40
	地 域 シ ス テ ム 学 科		

【注】当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始20分後です。

6-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【経済学部・後期日程】

国 語	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験		合計点
	地理歴史 公民	数学①又は数学②	
100	100 × 2	(100)	700
		外国語	200
		100	700

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注3】 () 書きの配点の教科・科目については、受験している科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

【 医 学 部 】

医学部アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

医学部アドミッション・ポリシー

基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

医学科

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

看護学科

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

求める学生像

医学科

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

看護学科

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

入学者選抜の基本方針

医学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では、一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者

の学力や資質を評価しています。また、医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程）

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理・化学・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

- ・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

AO入試とは、従来の高等学校長による推薦ではなく自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜するものです。一般入試と同じく大学入試センター試験は、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接と集団面接を行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

- ・学士編入学

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っています。

看護学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、看護学科では、一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした3年次編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程・後期日程）

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については5教科6科目を課しています。また、個別学力検査については、前期日程では小論文を課すことにより、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

- ・推薦入試

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、高等学校長等の推薦書及び調査書を参考資料とします。

- ・社会人入試

社会人入試では、社会人としての経験を看護の分野に活かしてゆくことのできる有能な

人材を受け入れるため、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・3年次編入学

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に習得することが必要です。

医学科

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力
- 地理歴史，公民**：各科目の基礎的知識，社会的常識と思考力
- 数** **学**：理系数学（数Ⅲ・数Cの範囲まで）の知識，応用力と数理的思考力
- 理** **科**：物理Ⅰ・Ⅱ，化学Ⅰ・Ⅱ，生物Ⅰ・Ⅱの知識と理学的思考力
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力，外国語文献を読解し，外国語で発表する基礎的語学力
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能

看護学科

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力
- 地理歴史，公民**：社会科学的な基礎知識と思考力
- 数** **学**：数学Ⅰまたは数学Ⅱの基礎的知識，応用力と数理的思考力
- 理** **科**：物理Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰの知識と理学的思考力
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力，会話力
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能

志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

医学部で志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも一つのみです。（ただし、医学部医学科は後期日程は実施しません。）

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

出願資格

平成25年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成25年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（66ページを参照してください）

【注】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

選抜方法

【前期日程】

1. 入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。同点者がいる場合は、医学科は大学入試センター試験の数学Ⅰ・数学Aの高得点者、大学入試センター試験の外国語の高得点者の順に優先します。看護学科は大学入試センター試験の高得点者を優先します。
2. 医学科、看護学科とも入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、第1段階選抜を行います。第1段階選抜では、医学科は募集人員の約3倍、看護学科は約6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査を実施します。
3. 第1段階選抜については、平成25年2月13日（水）に可否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。なお、合格者には併せて受験票を同封します。
4. 過年度の大学入試センター試験成績の利用について
本学では平成25年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

【後期日程】

1. 後期日程は、看護学科のみ実施します。
2. 入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を優先します。
3. 入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、第1段階選抜を行います。第1段階選抜では、募集人員の約7倍までを合格者とし、その

合格者に対して個別学力検査を実施します。

4. 第1段階選抜については、平成25年2月13日（水）に合否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。なお、合格者には併せて受験票を同封します。
5. 過年度の大学入試センター試験成績の利用について
本学では平成25年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

7. 一般入試募集人員【医学部】

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	A O入試 【注1】
医 学 部	医 学 科	100	65	—	—	35 【注2】
	看 護 学 科	60	35	15 【注3】	10	—
	計	160	100	15	10	35

【注1】 A O入試の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試（前期日程）から補充することがあります。

【注2】 医学科A O入試の募集人員35名には地域枠10名を含みます。

【注3】 看護学科後期日程募集人員には、社会人入試の募集人員（若干名）を含んでおり、合わせて15名です。

8. 一般入試前日程
8-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【医学部・前日程】

学部・学科	試験区分	個別学力検査の教科・科目等
医学部	<p>大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目</p> <p>国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科「物理I」「化学I」「生物I」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)</p>	<p>理科〔物理I・物理II〕 } から2科目 〔化学I・化学II〕 } 〔生物I・生物II〕 } 数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 英語〔英語II・リーディング・ ライティング〕 1教科 面接 医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。}</p>
看護学部	<p>国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学①「数学I・数学A」 } から1科目 数学②「数学II・数学B」 } 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } 理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」から2科目 ※「理科総合A」と「理科総合B」の選択はできません。 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科6科目)</p>	<p>小論文 課題式や資料式の小論文について解答させ、論理的思考力、表現力、読解力、及び看護学を学ぶための適性を評価します。}</p>

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について
 ア) この表中の「 」及び「 」は、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について
 ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさない**こととなります。複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
 イ) 看護学科の数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
 ウ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
 エ) 成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次頁の表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。
 エ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限りま。

【注3】 個別学力検査について
 ア) 医学部の理科の科目は、試験開始後に2科目選択してください。

- イ) 物理は、物理Ⅰと物理Ⅱの全ての項目を出題範囲とします。
 ウ) 化学は、化学Ⅰと化学Ⅱの全ての項目を出題範囲とします。
 エ) 生物は、生物Ⅰと生物Ⅱの全ての項目を出題範囲とします。
 オ) 医学科の数学B・数学Cの出題範囲については、次のとおりです。

数学B (数列, ベクトル) 数学C (行列とその応用, 式と曲線)

8-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【医学部・前期日程】

検査日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
2月25日 (月)	医 学 科	理科〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕〔生物Ⅰ・生物Ⅱ〕から2科目	10:00~12:00
	看 護 学 科	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C〕 英語〔英語Ⅱ・リーディング・ライティング〕	13:30~14:50 15:30~16:50
	医 学 科	小 論 文	10:00~12:00
2月26日 (火)	医 学 科	面 接	午前の部 8:30 集合 (予定) 午後の部 12:45 集合 (予定)

【注1】筆記試験は、当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始20分後です。
 【注2】面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については受験票送付の際にお知らせします。
 なお、面接集合時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目の試験開始時刻までに集合場所へ到着した場合に限り、受験を認めます。

8-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【医学部・前期日程】

医 学 科

国 語	大学入試センター試験					英 語	面 接	合 計 点
	地理歴史 公民	数学① 数学②	理 科	外国語	理 科			
100	(50)	50×2	50×2	100	100×2	100	200	1050

看 護 学 科

国 語	大学入試センター試験				合 計 点
	地理歴史 公民	数学①又は 数学②	理 科	外国語	
100	(50)	(100)	50×2	100	550

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。
 【注2】個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。
 【注3】() 書きの教科の配点は次のとおりです。
 ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさない**こととなります。第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
 イ) 看護学科の数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
 【注4】大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
 「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200満点)の得点のみを利用します。

9. 一般入試後期日程

9-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【医学部・後期日程】

学部・学科	試験区分	個別学力検査の教科・科目等
医学部	<p style="text-align: center;">大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目</p> <p>国語「国語」 1科目</p> <p>地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 公民「倫理、政治・経済」</p> <p>数学①「数学I・数学A」 } から1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」</p> <p>理科「理科総合A」「理科総合B」「物理I」「化学I」「生物I」から2科目 ※「理科総合A」と「理科総合B」の選択はできません。</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科6科目)</p>	<p>面接 看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。</p>

【注1】大学入試センター試験について

- ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。
- イ) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
- ウ) 数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
- エ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次頁の表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。
- オ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

9-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【医学部・後期日程】

検査日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
3月12日(火)	看護学 科	面接	午前の部 8:30 集合 (予定) 午後の部 13:00 集合 (予定)

【注】面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、受験票送付の際にお知らせします。なお、面接集合時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目の試験開始時刻までに集合場所へ到着した場合には限り、受験を認めません。

9-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【医学部・後期日程】

看護学科

大学入試センター試験				個別学力検査		合計点
国 語	地理歴史 公 民	数学①又は 数学②	理 科	外 国 語	面 接	
100	(50)	(100)	50 × 2	100	100	550

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注3】() 書きの配点の教科の科目は次のとおりです。

ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさない**こととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

イ) 数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】大学入試センター試験の「英語」は、リスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

【 工 学 部 】

工学部アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

工学部アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会

や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科では次のような人を求めます。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的 I T（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めます。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な、数学、化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え、意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

〈福祉環境工学科〉

本学科は、すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており、このような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり、都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため、建築には自然と共生しながら、人間生活の安全性・快適性を追求し、その質を向上させながら、長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって、自然科学や工学の分野だけでなく、人文、社会科学から芸術にわたる幅広い知識が必

要となります。

本コースでは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力、豊かな人間性及び幅広い見識を兼ね備えた建築家、建築技術者、研究者の育成を目標としています。そのため本コースでは以下のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学，人文，社会科学並びに芸術の分野に関心があり，幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 2 あらゆる立場の人とコミュニケーションできる能力と見識を有する技術者になりたいという旺盛な意欲をもっている人
- 3 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力を獲得するため努力をする人

・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置 (= Mechanics + Electronics, ロボットはその一例) は，多くの人の負担を軽減すると共に，今まで人しかできなかった作業も可能にしつつあります。

本コースは，このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし，次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を持ち，これを育もうとする人
- 2 理工学，人文並びに社会科学の分野に関心があり，メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 4 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では，多様な観点から受験者の学力や資質をみるため，一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試，帰国子女入試，私費外国人留学生入試等を実施し，アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）および個別学力検査（数学，理科）により，専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）により，専門分野の学習に必要な基礎学力を見るとともに，個別学力検査（面接）により，専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

・推薦入試

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験および面接により総合的に評価し，選抜します。基礎能力試験では，いくつかの設問を通じて，基礎能力を含む論理的思考力，課題解決能力を見ることで，受験者の工学分野への適性を計ります。また面接では，専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する設問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，専門分野への関心・意欲・理解を見るときともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接により総合的に評価し，選抜します。面接では，日本語能力，専門分野への関心・意欲・理解を見るときともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・第3年次編入学

面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，簡単な筆記試験及び口頭試問により，基礎学力や専門分野の学力を見るときともに，専門分野への意欲，積極性，論理的思考力，自己表現力についても評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

工学部の教育においては，高等学校において学習する下記のような教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため，理解のレベルは個人によりそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については，入学までに身につけるよう期待します。

国語：基礎的な文章読解力，論理的説明能力，作文能力

地理歴史，公民：地理，歴史，経済，社会などの基礎的な知識

数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」

理科：「物理Ⅰおよび物理Ⅱ」，「化学Ⅰおよび化学Ⅱ」

外国語（英語）：基礎的な文章読解力およびコミュニケーション能力

志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

工学部の志望学科及び理科の受験科目については以下のとおりです。

1. 志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。ただし、福祉環境工学科については、建築コースとメカトロニクスコースでコース別に募集します。従って、第1～第3志望を選択するときは、機械・エネルギーシステム工学科、電気電子工学科、知能情報システム工学科、応用化学科、福祉環境工学科（建築コース）、福祉環境工学科（メカトロニクスコース）の中から志望順に3つまでを選択することになります。また、第1志望のみ又は第2志望まででもかまいません。
2. 前期日程において、第2志望以下での個別学力検査の理科の受験科目は入学者選抜の実施教科・科目等【注3】（59ページ）を参照してください。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

出願資格

平成25年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成25年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（66ページを参照してください）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

1. 調査書について

出身高等学校長等が作成したものについて審査します。

2. 過年度の大学入試センター試験成績の利用について

本学では平成25年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

10. 一般入試募集人員【工学部】

学部	学 科		入学定員	募 集 人 員		
				前期日程 【注】	後期日程	推薦入試
工 学 部	機 械 ・ エ ネ ル ギ ー システム工学科		80	53	15	A推薦 9 B推薦 3
	電 気 電 子 工 学 科		80	52	14	A推薦 11 B推薦 3
	知能情報システム工学科		70	44	11	A推薦 10 B推薦 5
	応 用 化 学 科		60	38	10	A推薦 10 B推薦 2
	福 祉 環 境 工 学 科	建 築 コ ー ス	50	35	10	B推薦 5
		メカトロニクス コース	30	16	6	A推薦 6 B推薦 2
	計		370	238	66	66

【注】前期日程には次の募集人員を含みます。

- ・帰国子女入試（若干名）
- ・私費外国人留学生入試（若干名）

11. 一般入試前期日程

11-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【工学部・前期日程】

学部・学科	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科	国語 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学①「数学I」「数学A」から1科目	数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C〕1教科 理科〔物理I・物理II〕1教科
	知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	数学②「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」から1科目 理科「物理I」「化学I」2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C〕1教科 理科〔物理I・物理II〕 〔化学I・化学II〕から1科目

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限りま。

【注3】 個別学力検査について

ア) 第1志望の学科に必要な個別学力検査受験科目(理科)を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。

イ) 第2志望以下の個別学力検査受験科目(理科)は、〔物理I・物理II〕〔化学I・化学II〕のいずれでも構いません。

ウ) 数学B・数学Cの出題範囲については、下記のとおりです。

・数学B(数列、ベクトル) ・数学C(行列とその応用、式と曲線)

エ) 物理IIの出題範囲から除くのは、次のとおりです。(原子・電子と物質の性質、原子の構造、原子核と素粒子)

オ) 化学の出題範囲

化学I及び化学IIをあわせた範囲から出題します。ただし、化学IIの「生活と物質」、 「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合は、背景を説明した上で総合問題として出題する、 選択問題にするなどの配慮を行います。

11-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【工学部・前期日程】

検査日	検査科目等		検査時間	備考
2月25日(月)	理科	[物理Ⅰ・物理Ⅱ]	10:00~11:30	・当該試験終了まで退室できません。 ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始20分後です。
		[化学Ⅰ・化学Ⅱ]		
	数学	[数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C]	13:30~15:10	

11-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【工学部・前期日程】

大学入試センター試験				個別学力検査		合計点	
国語	地理歴史 公民	数学①	数学②	理科	数学		
150	(75)	50	50	50 × 2	200	200	1025

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注3】 () 書きの教科の配点は次のとおりです。

ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

12. 一般入試後期日程

12-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【工学部・後期日程】

学部・学科	試験区分	個別学力検査の教科・科目	備考
機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目 国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学①「数学I」「数学I・数学A」 から1科目 数学②「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } から1科目 「情報関係基礎」 理科「物理I」「化学I」 2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	個別学力検査の教科・科目	備考

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】大学入試センター試験について

ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】個別学力検査について

ア) 面接では志望学科やそれに関わる分野への関心、意欲、積極性、理解力、自己表現力をみます。

12-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【工学部・後期日程】

検査日	検査科目等	検査時間	備 考
3月12日（火）	面接	10:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・9時30分までに集合（検査場所は当日掲示）してください。 ・試験開始時刻に遅刻した場合は、面接者の1組目または1人目の試験が終了し退室するまでに限り、受験を認めます。 ・面接中に検査場で昼食をとるので、弁当を持参してください。

12-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【工学部・後期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験					個別学力検査		
国 語	地理歴史 公民	数学①	数学②	理 科	外国語	面 接	合計点
125	(75)	150	150	100 × 2	200	200	1100

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査で必要な教科及び科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注3】 () 書きの教科の配点は次のとおりです。

ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、英語の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

【全学部共通事項】

出願手続

入学資格審査について

障がいのある者等の事前相談

震災により被災した者等の事前相談

受験の際の宿泊

検査場

不正行為の取扱い

合格者発表

追加合格

入学手続

情報提供


過去問題の使用について

その他

13. 出 願 手 続

- (1) 出願期間
 - ・平成25年1月28日(月)から2月6日(水)まで(土日を除く)
 - ・受付時間は、9時から17時まで
 - ・郵送の場合は2月6日(水)17時**必着**
- (2) 出願方法

出願に当たっては、本要項に添付されている**日程毎(前期・後期)に色分け**した封筒を用い、郵送する場合は**書留速達**としてください。
- (3) 出願書類等

書 類 等 名	内 容 等	該 当 者
入 学 志 願 書 受 験 書 票 電 算 処 理 原 票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、下記のを貼り付けてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学入試センター試験成績請求票 2) 写真(縦4cm×横3cm, 上半身, 正面向きで, 本人であると確認できるもの。) 3) 志願学科・課程等及び受験科目貼付用紙 4) 入学検定料振替払込受付証明書(大学提出用) 	全 員 (前期, 後期とも出願する場合は2通必要です。)
調 査 書 【注】	<p>文部科学省所定の様式で、出身高等学校長等が作成し厳封したもの。 (平成25年3月卒業見込者については、2(前)学期末現在で作成したもの) なお、出身学校が文書保存期間等の関係で発行できない場合は、その理由を記載の上、成績証明書を提出してください。 ※震災や福島原子力発電所事故の影響により、提出書類等に関して出願に支障がある場合は、本募集要項67ページを参照のうえ、事前に相談してください。 ※改姓等により、現在の氏名と調査書等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。</p>	
曲 目 調 査 票	<p>教育福祉科学部学校教育課程教科教育コースの個別学力検査(前期日程)を音楽(実技)で受験する者及び情報社会文化課程総合表現コースの個別学力検査(前期日程)実技のうち音楽表現で受験する者は、本学所定の用紙に必要事項を記入してください。</p>	
志 願 調 書	<p>医学部看護学科(後期日程)を志願する者は、本学所定の用紙に志願者本人が自筆で記入してください。</p>	
受 験 票 返 信 用 封 筒	<p>本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、350円分の切手を貼ってください。</p>	
入 学 検 定 料 振 替 払 込 受 付 証 明 書 (17,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①金融機関(郵便局を含む)での振込 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストアでの振込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/から振込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続を行ってください。 (振込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) https://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を、②の場合は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票下の貼付欄にはがれないよう糊付けしてください。手数料は本人負担です。 納入した検定料の返還はできません。  	全 員 (前期, 後期とも出願する場合は2通必要です。)
住 所 シ ー ル	<p>本学所定の住所シール①～④すべてに、合格通知等を受け取る住所等を記入してください。</p>	

【注】 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者及び高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の合格者については、当該試験等の資格証書のコピー及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者で、高等学校もしくは中等教育学校在学したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。

(4) 出願上の注意事項

ア) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の推薦入試合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、個別学力検査を受験しても本学の合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても本学の合格者とはなりません。

ウ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。

エ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。**検査科目等が不明**となる場合がありますので、誤りのないよう記入（貼付）してください。

オ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

カ) 出願書類等は受付後は返却できません。

(5) 受験票

受験票は、受付完了後、志願者本人宛に送付します（医学部は、第一段階選抜後発送。詳細は44、45ページ「選抜方法」を参照）。なお、個別学力検査当日は**大分大学受験票と大学入試センター試験受験票**を持参してください。

(6) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(7) 入学検定料の返還請求

入学検定料の返還請求に該当する場合は、本学から「検定料相当額返還請求書」を送付します。これに必要事項を記入し、封筒の表に「入学検定料返還請求書在中」と朱書して、次の請求先まで郵送してください。

請求書類提出期限：平成25年3月29日（金）必着

請求先及び問い合わせ先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学財務部経理課収入・支出係 TEL 097-554-7421

14. 入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申し出を行い、関係書類を平成25年1月11日（金）（ただし大学入試センター試験を受験後、本学に志望変更した場合は平成25年1月23日（水））までに提出してください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）

15. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成24年12月21日（金）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

本要項に添付している「平成25年度大分大学入学者選抜試験特別措置申請書（健康診断書等必要書類添付）」を提出し、必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を

代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

16. 震災により被災した者，または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者，または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で，本学の受験に際し特別な措置が必要な者，及び修学上特別な配慮が必要な者は，下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成24年12月21日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から，直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお，東日本大震災に関する入試情報については，本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に詳細を掲載しています。

17. 受験の際の宿泊

宿泊を希望する者は，本要項に同封している「宿泊のご案内」を参照してください。

18. 検 査 場

学 部 名	検 査 場	所 在 地
教育福祉科学部 経済学部 工学部	大分大学旦野原キャンパス	大分市大字旦野原700番地
医学部	大分大学挾間キャンパス	由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

(1) 検査場の下見は，各検査日前日の14時～16時の間に行ってください。ただし，挾間キャンパスについては建物内に入ることはできません。

(2) 各検査場及び検査室は掲示板で確認してください。

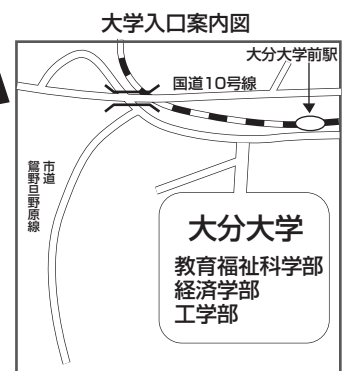
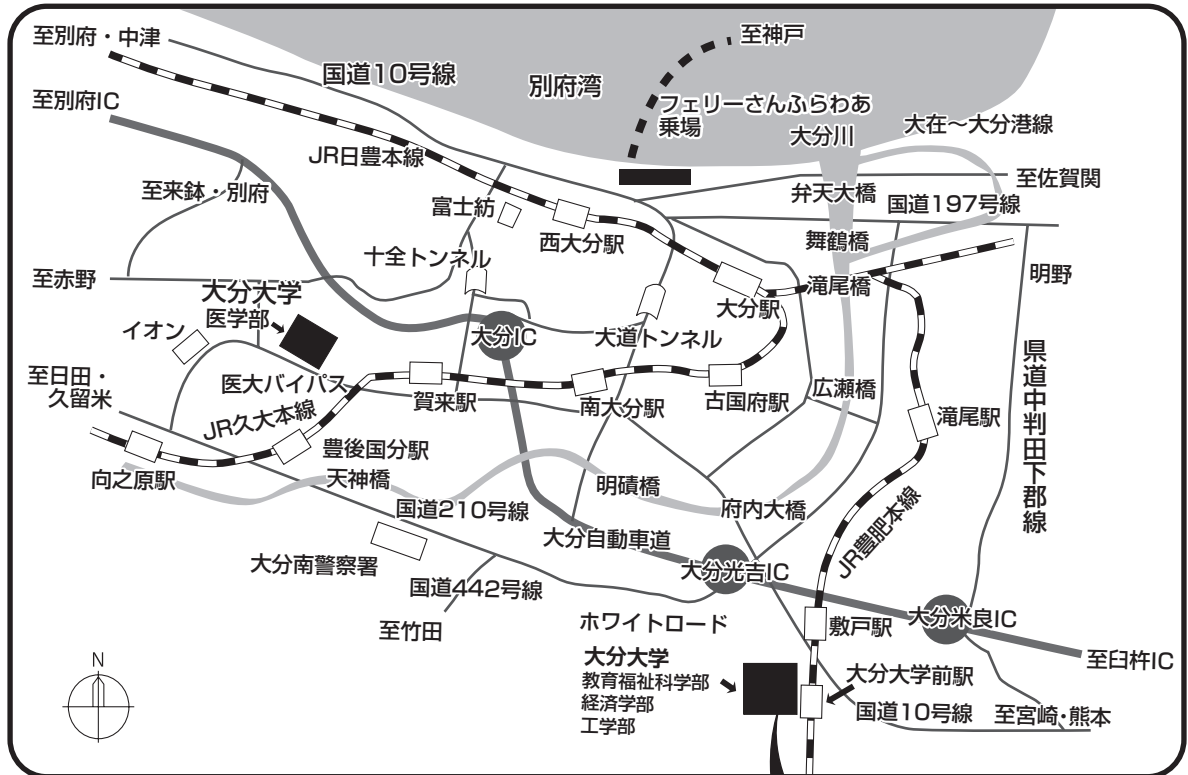
実技検査は，当日検査開始30分前までに受験票で指定した集合場所に集合し，係員の指示に従ってください。

(3) 検査当日，自動車等で来学する場合は，係員の指示に従ってください。

なお，旦野原キャンパスには自動車での入構はできますが，駐車場に限りがありますので，できる限り公共交通機関等を利用してください。また，挾間キャンパスには十分な駐車場がありませんので，公共交通機関等を利用してください。

(4) 挾間キャンパスでは，試験時間中に医学部附属病院救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があります，その離着陸の際，一時的に大きな音が発生することがあります。この場合も生活騒音として扱い，原則，試験を続行することとしていますので，予めご了承ください。

大分大学位置図



旦野原キャンパス

(教育福祉科学部, 経済学部, 工学部: 大分市大字旦野原700番地)

<JR利用>

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約12分: 240円), 徒歩約10分

<バス利用>

大分バス 大分バス本社前〔トキハデパート前〕1番のりばから

○「大南団地・高江ニュータウン」行きを利用。「大分大学」又は「大分大学正門」下車(約40分: 360円)

※前期日程試験日(2/25, 2/26)分の下見の日(2/24)は日曜日の時刻表のため、「大分大学」バス停に路線バスは停車しませんので、「大南団地・高江ニュータウン」行きは「大分大学正門」で下車してください。(詳細は時刻表で確認してください。)

○「戸次, 臼杵, 竹田, 佐伯」行きを利用。「大分大学入口」下車(約40分: 350円), 徒歩約10分

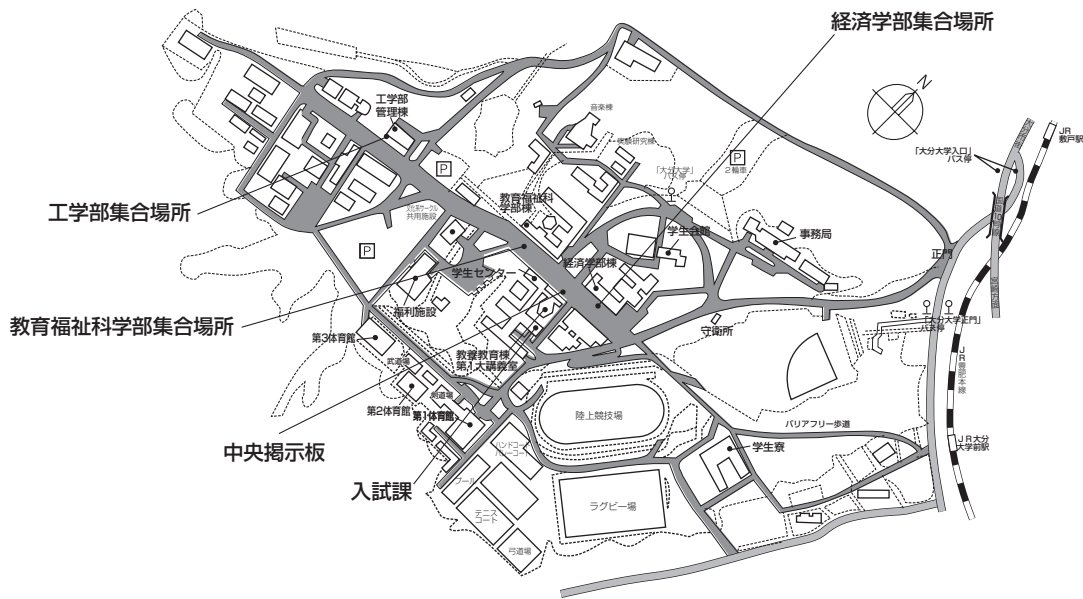
●臨時バスの運行

検査場の下見時及び検査当日大分大学まで次のとおり大分バスが臨時バスを運行する予定です。(約40分: 360円)
詳しくは大分バス(Tel. 097-525-9882)にお問い合わせください。

検査場の下見 = 各検査日の前日13時頃から→大分バス本社前〔トキハデパート前〕1番のりばから

検査当日 = 各検査日の8時頃から→大分バス本社前〔マクドナルド前〕3番のりばから

学内案内図



挾間キャンパス

(医学部: 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

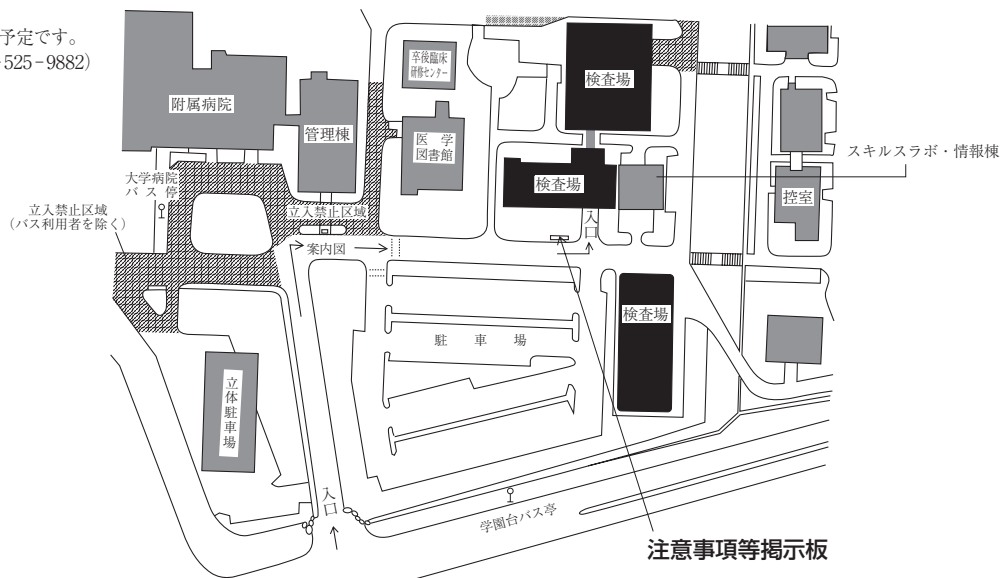
<バス利用>

大分バス 大分バス本社前〔トキハデパート前〕2番のりば又はJR大分駅前3番のりばから

○「大学病院」行きを利用。「大学病院」下車(所要時間約40分: 410円)

●臨時バスの運行

2/25は臨時バスを運行する予定です。
詳しくは大分バス(Tel. 097-525-9882)にお問い合わせください。



19. 不正行為の取扱い

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、**それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。**

- ア) 入学志願書、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
- イ) **カンニング**（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ウ) 他の受験者に**答えを教えたりカンニングの手助け**をすること。
- エ) 試験時間中に、**問題冊子を試験室から持ち出す**こと。
- オ) **解答用紙を試験室から持ち出す**こと。
- カ) 「解答はじめ」の指示の前に、**問題冊子を開いたり解答を始める**こと。
- キ) 試験時間中に、**携帯電話や電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類**を使用すること。
- ク) 試験時間中に、**定規、コンパス、電卓等の補助具**を使用すること。
- ケ) 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、**鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続ける**こと。

(2) 上記（1）以外にも、次のことをすると**不正行為となる**ことがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。

- ア) 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

20. 合格者発表

合格者は、次のとおり大分大学教養教育棟（旦野原キャンパス）の中央掲示板（全学部合格者）及び医学部管理棟前（医学部合格者）に受験番号を掲示するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。また、「23. 情報提供」欄の大分大学ホームページにおいても公表します。

合格発表日時	前期日程	平成25年3月6日（水） 10時
	後期日程	平成25年3月20日（水） 10時

※これら以外の可否通知等については、本学は責任を負いません。

21. 追加合格

入学手続完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

入学志願書に記載している追加合格連絡先に電話連絡で入学意志の確認を行いますので、下記期間中は連絡先に待機しておいてください。なお、追加合格の有無については、「23. 情報提供」欄の大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にて確認することができます。

連絡期間	平成25年3月28日（木）～平成25年3月31日（日）
------	-----------------------------

22. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。なお、入学手続には大学入試センター試験受験票も必要ですので、受験後も保管しておいてください。

(1) 入学手続期間

期間	前期日程	平成25年3月14日（木）・15日（金）	9時～17時
	後期日程	平成25年3月26日（火）・27日（水）	

※入学手続の詳細は、合格通知とともに郵送します。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）

（授業料については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて1年分の納付もできます。）

注1. 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予の制度があります。申請手続きは、入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へお問い合わせください。

注2. 入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注3. 既納の入学料は返還できません。

(3) 国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

23. 情報提供

(1) 大分大学ホームページへの掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に掲載します。

区 分	掲 載 期 間
出 願 状 況	平成25年1月29日(火) 11時～3月12日(火)
合格者受験番号 (前期日程)	平成25年3月6日(水) 10時～3月12日(火)
合格者受験番号 (後期日程)	平成25年3月20日(水) 10時～3月26日(火)
追加合格実施状況	平成25年3月28日(木) 11時～3月31日(日)

(2) 本学の情報は大分大学ホームページで見ることができます。

(3) 入学試験個人成績の開示について

本学においては、大分大学入学者選抜試験個人成績を受験者本人に限って開示します。
開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成25年5月7日(火) から6月28日(金)

※土日及び祝日は除きます。

申 込 者：受験者本人に限ります。(代理人は不可)

申込方法：下記の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

①入学試験個人成績開示申請書※

②個別学力検査の受験票のコピー

③写真付きの身分証明書のコピー

④返信用封筒(長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、380円分の切手(簡易書留郵便料金分)を貼ってください。)

※入学試験個人成績開示申請書は、次のいずれかの方法により取り寄せてください。

- ・本学入試課に直接来学する。
- ・大分大学ホームページから印刷して使用する。
- ・郵送により請求する。

封筒を用意し、その表に朱書きで「入学試験個人成績開示申請書請求」と明記し、本学入試課宛に返信用封筒を同封して郵送してください。返信用封筒は、長形3号の規格のものに、本人の住所・氏名を明記し、80円切手を貼ったものとしてください。

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日送付します。

開示内容：平成25年3月下旬に、上記ホームページでお知らせします。

24. 過去問題の使用について

大分大学工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加しました。

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、工学部では必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。

- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入学試験終了後、受験者に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、下記のURLにて公表しています。
- 「入試過去問題活用宣言」ホームページ <http://www.nyushikakomon.jp/>

25. そ の 他

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した場合には、選考資料として利用します。
- (3) 本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細をすみやかに掲載します。なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7471) です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。



個別学力検査当日は、「本
学受験票」と、「大学入試セン
ター試験受験票」の両方を
持ってきてね！

入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんの はる 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

TEL 097(554)7471

URL <http://www.oita-u.ac.jp/>